

3 学期はまとめの学期 ～今年巳年～

校長 竹中 朝崇

年も改まり、令和7年がスタートしました。私自身は中伊豆にあります実家にて年始を迎えましたが、いつになく穏やかで静かな新年となりました。ありがたいことです。ところで、年頭にあたりよくどのような年になるのかということで干支と絡めた話題となりますが、今年の干支は巳年ということです。ただし、これは正確ではありません。話は少しそれますが、私が世界史や日本史の授業を行っているときある場面で年号や方角そして時刻に関する説明が必要でしたので、そこで必ず出て来るのが干支のお話でした。ここで詳細を語るのは避けますので、干支について興味のある方は調べていただきたいのですが、干支とは正確には十干十二支を指します。そこで今年の干支は正確には乙巳（きのとみ）年となるのです。ちなみに今から60年後同じ干支が巡ってきますので60歳＝還暦となりお祝いをするようになります。皆さん還暦の意味を理解していただけるでしょうか。話を戻しますと一般的には十二支のことを干支としていますので巳年とはどのような年かということになります。「巳」という文字は、蛇が冬眠から覚めて地上にはい出す姿を表しているといわれ、「起こる、始まる、定まる」などの意味があり、さらに蛇は脱皮をすることから新たな挑戦や変化に前向きになるといわれています。また音の巳（み）＝実と解釈され、これまで努力してきたことが実を結びはじめる年だともいわれています。「1年の計は元旦にあり」ということで今年は何をしようか考えた人も多いと思います。前向きに行動できる目標を作ってみてはいかがでしょうか。

一方、学校の始まりは4月ですので、新年になったとは言え、まだ令和6年度として最後の学期があります。つまり、3学期は整理と次のステージに向けた準備の期間です。昨年4月当初に立てた目標の達成を目指して、目標を達成している人はもう一段階上の目標を設定してチャレンジして欲しいと思います。また3学期始業式の際に高等学校や中学校で学ぶ意義とは何かということを生徒の皆さんには投げかけましたが、社会に出るための準備期間であるというお話をいたしました。自分をみつめ、常に小さな目標を作って行動するとともに、社会とのつながりを大切にして自分たちも社会の一員であるという意識をもって行動して欲しいと私は願っています。

寒の入りということで季節は最も寒い時期になってきました。これから1月末にかけてインフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの流行はピークを迎えると言われていきます。今までも健康管理の重要性は伝えてきましたが、手洗い・うがい等の基本的な感染予防対策に努めるようにしてください。特にこれから大学受験を控える生徒の皆さんは入試本番で最大限の力を発揮するためにも健康管理は最も重要なことで、これも合わせて受験ということになります。最後に受験生にひと言。受験に限らず言えることですが、今は目に見えていなくても様々な人の支えがあるということをお忘れずに冷静に行動してください。ぜひ結果が実るよう期待しています。「努力は必ず報われる」。